南会津の緑に包まれる 高野 癒しの里

高野にある里山をご存じですか？

高野癒しの里は、「NPO法人森林野会（もりのかい）」が、高野区民や高野もりネット協議会と連携して生まれた自然体験フィールドです。

高野区の豊かな森林と都心から近い地利を生かして、大自然と触れあい、癒される空間を目指しています。

約300haの広大な里山は3つのエリアで構成されており、季節ごとに行うイベントやワークショップを通して、人や里山とのつながりを作り、里山を後世に繋ぐ取り組みを行っています。

地元の子供たちの森林体験学習の場として親しまれているほか、日本屈指の長さを誇る雪滑り台が目玉の雪まつりや、マウンテンサイクリングを行うなどして、首都圏との交流も行っています。

荒れ果てていた生まれ育った里山

NPO法人　森林野会
理事長　星 義道 さん

平成20年、星義道さんは60歳で生まれ育った南会津へUターン。

しかし、かつて先人が切り開いた豊かな田畑、遊びまわった森や川は荒れ、やぶ化が進み、里山は獣の住処となっていました。

人が集い、ほっとする「癒しの里」作りを決意し、荒れていた私有地の田畑や山林、昔の作馬道を「じね～んの森」と名付け、コツコツと整備を始めました。

その取り組みが、徐々に地域住民を巻き込むかたちで普及していき、自生していた「さるなし」の栽培の拡大や、加工、6次産業化にも挑戦。そんな活動の道半ば、東日本大震災が起こり、激しい風評被害が山村集落に大きな影響を与えました。

「皆が一丸となって取り組まなければこの局面は乗り切れない」と思い、整備範囲を広げて、高野区全体を癒しの里にしようという構想実現に向けて「高野もりネット協議会」設立。

平成27年度からは、国・県・町の補助事業を活用して、荒れ果てた約300haの里山を仲間と共に間伐や整備をしています。間伐時にでた杉等の木材は、町内のチップ工場へ運び木質バイオマス燃料にするなど、資源を無駄なく有効活用しています。

こうような取組もあり現在の里山は、ツリーハウスの創作、約10kmにも及ぶ遊歩道の整備を行うなど多面的機能を有する空間へ変わってきています。

高野癒しの里プロジェクトは、始まったばかり―。

高野 癒しの里ってどんなとこ？

「じね～んの森」「季の香の森」「桜並木の散策路」の３つのエリアで構成されています

桜並木の散策路

約10キロほどの散策路です。千本桜を目指し、毎年、桜の植樹祭を行い、約400本が植樹されています。現在は、年々成長する桜を見ることができます。

また、散策路の途中には見晴らし台があり、高野区の山々を一望できます。そこには壮大な景色が広がっています。

季の香の森

大きな池や丸太のベンチ、ログハウスなどがあり、四季の景色や香りをゆったりと楽しむことができます。

春には桜、夏にはホタル、秋には紅葉、冬には雪景色と四季の移ろいが美しい森です。大きな池もあり、植物や生き物を観察することができます。

じね～んの森

ツリーハウスや井戸、木のブランコがあり、子どもたちが、自然の中で思いっきり遊べる森です。

小川や丸太橋もあり、案内人と一緒に探索することができます。秋には美味しいさるなしや、ほうずきなど自然の恵みを味わうことができます。

今後の主要イベント予定

日　程	イベント	内　容
7月16日	ホタルの夕べ	みんなでホタルの鑑賞会！
8月21日	じね～んの森で遊ぼう！	自然観察会、イワナのつかみ取り体験など
9月23日	季の香の森で遊ぼう！	自然観察会、ドジョウ・タニシ採り体験など
9月25日	さるなし収穫祭	じね～んの森でみんなでワイワイ♪
10月23日	高野・高山紅葉ウォーキング	秋の里山を散策しよう！
2月18・19日	高野の雪まつり	雪の滑り台、かんじきウォーキングなど

日程等が変更する場合が、ございますHP等で確認ください。

申込み・問合せはコチラから

※一緒に活動してくれる仲間。活動に賛同していただける企業を募集しています！